

令和5年度 第6回 江府町学校運営協議会 議事録

■期 日：令和6年3月14日（木）

■時 間：19:00～20:30

■場 所：日野川校舎 多目的ホール

<会議出席者>

【委員】宮本会長、井上裕吉副会長、小椋委員、船越委員、藤原委員、遠藤委員、加藤健一委員、加藤千恵子委員、長谷川委員、景山委員（欠席：井上廉女委員、高津委員）

【事務局】富田教育長、持田指導主事、森田副校長、山本教頭、竹田 CSD

1 開会

会長挨拶

2 報告

・ひなまつりコレクションボランティア募集について（竹田 CSD）

3 協議

(1) 奥大山江府学園の令和6年度の学校経営方針について

①令和6年度 学校経営方針(案)について説明(景山校長)

②質疑・応答

委 員	ふるさとキャリア教育について、今は携帯電話での課金やデジタル化などで金銭感覚が薄れていると思われるので、お金の勉強を取り入れてはどうか。
景山校長	家庭科で少し学ぶ場はある。お金の勉強は必要だと話題になることはあるが、ふるさとキャリア教育にどう組み込むかが今の時点では見えにくい。ただし、意見をいただいたので今後考えたい。
委 員	①教育目標の「江府っ子」という呼び名が、小さい子だけのイメージになり、少し気になっている。 ②学びに向かう姿勢について。「めあて・まとめ・ふりかえり」を活用して、とはつまりよくわかる授業をすることだと思うが、よくわかる授業とはどういうものを教員が理解しているか。 ③家庭学習強化期間について。教員の負担になっていないか。
宮本会長	①の「江府っ子」にした経緯については、コミュニティ・スクールの立ち上げの際にめざす子ども像を話し合って作成した文言であるので、もし変更したいのであればこだわって使い続ける必要はないと思う。
景山校長	これに決まった経緯を大事にしたいという思いもある。また「児童生徒」と置き換えると「江府の」ということが薄れてしまうので、このまま使用している。
委 員	江府の子ども、という意味で江府っ子、という認識なので特に小さい子だけというイメージはない。
景山校長	②について、授業が分かりやすいということも確かに必要な要素だと思うので、よくわかる授業づくりという内容の文言をプラスしたい。 ③について、実施することでやはり負担はあると思う。しかし、担当部会の教員が自発的にしてくれている部分もあり、自発的である分、負担感が少しは減ると考えている。
委 員	自発的になる為には何事も仕掛けが必要で、子どもの主体的な学びについても同様である。

委員	<p>①6年生の定期考査について、よい機会だと思う。 同じく6年生の部活動について、中体連の問題もあり更に今後義務教育学校が全国的に増えていくかどうかにも関わるとは思うが、プレ入部のような形で、12月からと言わずもっと早めに部活動を始めても良いと考える。</p> <p>②ふるさと魅力発信科の授業数と科の中身を見せてもらいたい。それに合わせて、学校運営協議会の部会に出来る事があるかもしれない。</p> <p>③ニュージーランド海外研修の話があったと思うが、学年や人数など詳細を教えてください。</p>
景山校長	<p>①について、12月からではなく夏休み中も希望者は参加可能としている。昨年度の6年生は参加があったが今年度は少なかった。6年生から部活動への参加も良いと思うが、既にスポ少などで運動をしている生徒もあり、両立となると負担ではないかとも考える。長期休業中の事についてはまた別で考えたい。</p> <p>部活に関して言うと、教員の働き方などにも関連して、自分が確認した限り午後6時半まで部活をするところは無いように聞いている。また、帰りのバスの時間の問題もある。そこで、来年度は学校の時程を変更して90分部活をしても5時バスで帰れるようにする予定である。</p> <p>②について、1・2年生は年間35時間、7年生は50時間、3・4・5・6・8・9年生は70時間の授業数である。具体的な内容については資料を配布する。</p>
教育長	<p>③について、昨年より3カ年で計画されているが、昨年度はコロナの為中止。今年度が実質の初年度となる。訪問国は、江府町と同じく豊かな自然があり環境を大事にしている国であること、ホームステイの際に危険が少ないということ、時差も少なく気候も良いとの理由からニュージーランドに決まった。参加生徒は6名で、学年は7・8・9年に募集をし、それぞれの学年に1人以上いる。現地では、環境の勉強など、ホームステイをして学ぶ予定である。</p>
委員	<p>大変良い機会なので、来年度以降もぜひ続けてもらいたい。出来れば希望者は全員参加出来るとなお良い。</p>
委員	<p>①の部活について、部活ではなくクラブから大会参加が可能になるなどの動きがあるが、活動中に問題が起こった時等学校がどのように介入するかなど、新たな問題も出てきている。今後も課題があると考ええる。</p>
景山校長	<p>部活への全員加入を見直そうという動きもある。今年の6年生に関して言えば、始める前は気が進まないと思っていたけれどやってみたら楽しい、という様子が見られる。人数も少なく、皆で頑張ろうという思いもある為、江府では基本的に全員加入で考えている。</p>
委員	<p>安心・安全な学校のところに「保護者及び医療機関等他機関との連携」とあるが、専門機関と連携して家族、子どもも一緒になって解決に向かえるというのは非常に良いと思う。</p>
景山校長	<p>教員だけで児童生徒を見るのではなく、SC、SSW、医療機関などの専門的な視点も必要だと考える。</p>

③承認

宮本会長	令和6年度の奥大山江府学園 学校経営方針について、承認とする。
------	---------------------------------

(2) 来年度の協議会について

特に発言なし

4 その他

- ・5年生の田植え体験への協力について
- ・富田教育長 挨拶

5 閉会